

平成23年度

事務事業評価表(平成22年度の実績評価)

記入年月日  
平成 23 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名 (子どもチャレンジ塾事業), 区分 (分野別主要事業, 未来プロジェクト事業, etc.), 事務事業No. (32334054), 課内No. (54), 所属部 (教育委員会), 所属課 (文化生涯学習課), 課長名 (杉山 文男), 所属係 (生涯学習係), 担当者名 (谷嶋 純子), 事業期間 (単年度のみ, 単年度繰返し, etc.), 予算科目 (生涯学習推進事業), 法令根拠.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事務事業の内容】  
大和地区小学校児童対象に、おもしろ理科、そば・食べ物作り、オカリナ、自然観察の講座について募集をする。  
6月より各講座ごとに開講し、11月頃まで実施する。  
食べ物作り講座については、保護者との協働の機会もある。  
【担当者が行う業務の手順】  
上記における各種事務、支出事務  
【事業費の内訳】  
・報償費 ・消耗品費

Table with 2 columns: (1) 事務事業の目的 (手段, 対象, 意図, 結果) and (2) 指標 (活動指標, 対象指標, 成果指標, 上位成果指標) with units.

Table with 2 columns: (2) 指標値の推移 (20-28年度実績/計画/目標) and (3) 投入量(事業費)の推移 (20-28年度).

Table with 2 columns: (3) 投入量(事業費)の推移 (20-28年度) and (4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

【開始したきっかけ】  
学校週5日制に対応し、スポーツ少年団未加入児童の居場所づくりとして、大和地区児童対象に旧大和村で発足した  
【5年前との相違点】  
児童数の減少が挙げられる

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
講座内容の見直しが求められている(同じものが続いているので違う講座を実施したいが、長く続く=人気があるという構図でもあるので、見直しが難しい)

事務事業名	子どもチャレンジ塾事業	事務事業No.	32334054	所属課	文化生涯学習課
-------	-------------	---------	----------	-----	---------

【See】 2. 評価の部 \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目		
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) 体験活動を通して、豊かな心、健やかな身体をバランスよく育成していくことは、本市の政策体系に結びついていると思われる	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) 単位子ども会の活動で取り入れることが可能であるが、一定期間通して継続した体験活動ができることは少ない。そのようなことから考えて、体験講座を設定することは必要であると考え。	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?) 大和地区小学生全学年を対象としているので適切である	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) 近年定着した講座で実施しているので、講座の見直しを含め、より多様な活動機会を設定していく必要があると思われる	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 大和地区はスポーツ少年団活動が盛んであるが、本事業を廃止した場合、文化的活動での児童の居場所づくりが難しくなると思われる	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> → 具体的な手段、事務事業名 真壁コミュニティースクール、岩瀬わくわくサタデー 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他地区で実施している同様の事業に統合することは可能であるが、児童の移動等問題点がある	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 現在、事業費として計上しているのは講師謝金と最低限度の材料費(消耗品費)のみであるので、削減は難しい	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) 講座開催時には職員の勤務時間内である	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) 公平・公正であると思われる	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(3)-1 改革改善策 事業形態は現状維持でも、事業内容を見直し、効率よく多様な体験機会を設定していく必要がある	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 A <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) B: 継続(改革改善を行う)	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項